

16

16-43

No. 142

石井小

宇都宮市第16小学校敷地地質調査工事

報 告 書

宇都宮市立石井小学校敷地地質調査報告書

昭和43年4月



目 次

§ 1	概 要	1
§ 2	調 査 結 果	1
§ 3	基 礎 に 就 い て の 考 察	1
§ 4	結 論	2
§ 5	調 査 位 置 図	
§ 6	推 定 地 質 横 断 図	

§ 1 調査の概要

本調査は宇都宮第16小学校を新設するに当り宇都宮市役所の御下命により小社が行つたものである。

調査は2地点に於いてボーリング, 1地点に於いて動的貫入試験を行い予定建物の基礎設計の一助とすべく努めた。

ボーリング	No 1	5.0 m	標準貫入試験
	No 2	4.0 m	"
	No A	1.5 m	動的貫入試験

§ 2 地質に就いて

今回調査した範囲に於いて整地中にて地盤高は判明しなかつたが表土, 関東ローム, 砂礫層でNo 1号孔にて-2.0 mで砂礫層が見受けられNo 2号孔地点に於いて1.30 mで幾分の深度差が見受けられた。地下水は上層には見受けられなかつた。

§ 3 基礎に就いての考察

今回調査した範囲に於いて支持層が浅く見受けられ非常に密な相対密度を示した砂礫層であり, こうした敷地では基礎型式としては直接基礎が採用される事と思われます。

併し今回調査した3地点に於いて支持層深度に差が見受けられるので一応の深さを2.0 m程度と仮定した場合許容沈下量に対する方型基礎として30~40 t/m²の許容耐力があるものと思われますが地点差を考慮に入れて25 t/m²程度に低減を行います安全と考えられます。

§ 4 結 論

以上今回調査した結果に就いて記しましたが許容支持力度
25 t/m² が適当と思われます。

調査結果参考として御報告申し上げます。

才16小学校新築敷地地質調査

